

悔しいシーズンを完走で終える。

#10 GAINER TANAX triple a GT-R

Ryuichiro TOMITA/Hiroki YOSHIDA



予選:21位 決勝:19位

入場者数/予選日:19.500人・決勝日:36.000人

11月11日(土曜日)

公式練習	8:45～10:20	天候:曇/コース状況:ドライ	Pos.12
ノックアウト予選 1回目	14:00～14:15	天候:晴/コース状況:ドライ	Pos.21
ノックアウト予選 2回目	14:45～14:57		—

2017年SUPER GTシリーズも、最終戦を向かえた。今年も、最終戦までチャンピオン争いに残ることが出来ず、悔しいシーズンとなりました。しかし、有終の美を飾るべく、表彰台に上って最終戦を飾りたい。

ツインリンクもてぎは、周辺を木々に囲まれた自然あふれるサーキット。紅葉もすすみ、晩秋の漂う中、練習走行は開始した。練習走行が始まる直前に、パラパラと頭上に雨が落ちてくる。しかし、セッションが始まると、雨は止み、セッション後半には、日差しもさしてきた。走り出しは富田竜一郎から。開始早々に、300クラスのマシンがストップし、赤旗中断。中断時間は短く、すぐに走行は再開。なぜかブレーキを踏むと、マシンに振動があると、富田が無線機から伝えてくる。



ただ、周回を重ねる内に、その振動は収まり、前後の車高などを調整し、セットアップを進めていく。

その後吉田広樹が、マシンバランスを確認し、再び富田がハンドルを握る。やはり、ブレーキの厳しいサーキットだけに、その辺りの調整も重要になる。

300クラス専有時間となり、富田はNewタイヤを履いて、予選シミュレーションを行う。このセッションは、12番手で走行を終えた。続くサーキットサファリでは、吉田がドライブし、予選に向けての最終チェックを行った。

予選Q1を担当するのは、富田。今年最後の予選に向かう。3分30秒をピットで待機してからコースへ。

思った様なグリップ感が出ず、富田は悪戦苦闘する。タイヤ温度がなかなか上がって来ないようだ。

計測3周目に、やっと1'48.555のタイムで暫定19番手。4周目は、セクター1.2で、タイムアップが出来たが、3.4ではペースが上げられず、タイムの更新が出来なかった。トップのNo.4AMGが唯一の1'46秒台に入れ、Q2進出するには、1'47秒台でないと脱落。厳しいQ1のアタックとなり、決勝グリッドは、21番手からのスタートになった。



富田 竜一郎ドライバーコメント

僕たち10号車は、予選21番手でした。朝のフリー走行のフィーリングからは、かけ離れた所に行ってしまうって、なぜタイムが出ないかわからない状況ではあったのですが、明日に向かってしっかりと原因を精査して、キチンとポイントを取れるようなレースが出来るように、頑張ります。

吉田 広樹ドライバーコメント

GT-Rとこのサーキットの相性があんまり良くないことは、予想していたのですが、そんな中でも、朝のフリー走行だけの順位だけ見たら、まだ頑張れそうな位置に居たのですが、実際自分が乗ってみると、気になるブレーキであったり、立ち上がりのトラクションであったりと、そういった部分が、もっと欲しいと感じました。出来る中でやるべき事をしっかりやっていたのですが、なかなかしっくり来るものがありませんでした。予選では、Q1を富田選手がアタックしてくれたのですが、朝のフリーよりも残念な結果になってしまいました。10号車は予選が後方でも、決勝では前に行ける力があるので、明日のレースは、最終戦として後悔無いように、諦めないで思いっきり走れたらと思います。



TANIX

triple a

WORK

DUNLOP

WAKOS

KTI

LIGHT AUTO 1

TONE

GRAN VALLEY

PENALTY

PIAA

ODYSSEY

WPC

Fireflex

monocolle

DRUG STORE Live

ÖHLINS

Kinokuni

GT-R Magazine

TAKATA GT-R Magazine

R35 GT CLUB
for NISSAN GT-R(R35) Owners

11月12日(日曜日)

決勝RACE

13:30～

天候:晴/コース状況:ドライ

Pos.19

最終戦では、雨に降られる予報もあったが、ウェットコンディションでの走行はなく、決勝日も朝の冷え込みはあったものの、秋晴れの中、決勝レースはオンタイムで開始された。

まず、栃木県警のパトカーと白バイの先導に続きDTM車両のパレードラップから始まった。その後フォーメーションラップを1周行い、スタートが切られた。スタートを担当したのは、吉田。1周目にNo.26AUDIをパスし、20番手にあがり、3周目には、No.111AMGもかわし、19番手へ。

8周目にも、No.87LAMBORGHINIをパスして、17番手になり、着実に順位を上げていく。



しかし、予選でタイム計測できなかったNo.21AUDIが、後方車両をパスし、リア部分にヒットするほどに詰め寄ってくる。15周目には、ダウンヒルで接触され、バランスを崩した隙に、かわされてしまう。

16周目辺りから、ルーティーンのピット作業が始まりだし、10号車も早めのピット戦略を選択。

17周目に、富田とドライバーチェンジを行うために、ピットへ。給油とタイヤを4輪交換して、富田をコースへ送り出す。富田のペースも悪くなく、淡々と周回を重ねる。

しかし、28周目にバトルをしていたNo.18MCの左後方をぶつけてしまい、ドライブスルーペナルティを受けてしまう。この時点で15番手を走行していたが、このペナルティを39周目に消化し、19番手までポジションを下げることに。前を走るNo.360GT-Rのペースは、富田とあまり変わりが無く、接触により、マシンが損傷したために、ペースが上げられず追いつけない。そしてそのままの順位で、48周目にチェッカーを受けた。

今年は、表彰台に上げられそうで、上げられないレースが続き、マシントラブル、ガス欠やペナルティにより、シリーズランキングも下位に沈んでしまいました。

来期は、心機一転、11号車と共に、絶えず表彰台争いが出来るように、チーム一丸となり、強いGAINERとして、戻って来られるように頑張ります。

引き続き、暖かい声援をよろしくお願いいたします。



富田 竜一郎ドライバーコメント

最終戦が終わりました。

21位スタート、19位フィニッシュでした。

色々な思いをもって臨んだ最終戦でしたが、ポイント獲得を焦るあまり、結果的には自分自身のミスでレースをふいにしてしまいました。

チームのみんな、18号車の皆様に申し訳ないです。

今シーズン、非常に厳しい一年となってしまう、スポンサーの皆様やファンの皆様に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

そんな厳しい中でも最大限の力を発揮してくれたチームスタッフのみんな、ダンロップタイヤさん、triple a様をはじめとするスポンサー様方、サプライヤーの皆様、応援して下さった皆様に本当に感謝しています。

一年間ありがとうございました。

吉田 広樹ドライバーコメント

今回もスタートを担当したのですが、レースに強いGT-Rの特性を活かしスタートから少しずつポジションを上げて行くことが出来ました。

どんどんプッシュしたい気持ちもありましたが、ブレーキに厳しい茂木ということもあり、ブレーキのマネージメントを意識した走行に切り替えました。

その後はタイヤの状況に合わせて早めにドライバー交代し、富田選手にプッシュしてもらっていたのですが、うまく噛み合わず19位でチェッカーとなっていました。

最後まで納得できるレースが出来ず悔しい1年になってしまいましたが、自分自身としてはレベルの高いチームで戦えたことで大きく成長できた1年だったと感じています。

応援していただいた皆さん、本当にありがとうございました！！



Driver Ranking GT300

Po	No	Driver	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind
1	4	谷口 信輝 片岡 龍也	20	1	6	8	15	0	15	12	77	—
2	65	黒澤 治樹 蒲生 尚弥	16	6	1	4	0	25	0	20	72	7
3	51	中山 雄一 坪井 翔	3	20	5	0	2	6	20	5	61	-4
4	55	高木 真一 Sean Walkinshaw	6	0	11	0	21	0	8	15	61	-4
5	25	松井 孝允 山下 健太	8	0	21	12	0	1	0	6	48	-17
6	11	平中 克幸 Bjorn Wirdheim	0	15	0	20	0	3	3	4	45	-20
7	33	藤井 誠暢	2	11	4	0	3	2	11	2	35	-30
8	9	Jono Lester 峰尾 恭輔	11	1	0	1	6	4	0	8	31	-21
9	61	井口 卓人 山内 英輝	0	0	15	2	8	5	0	0	30	-35
10	88	織戸 学 平峰 一貴	0	0	0	0	4	18	6	0	28	-37
11	33	Sven Muller	2	11	—	—	—	2	11	2	28	-37
12	60	飯田 章 吉本 大樹	0	3	0	6	0	10	5	0	24	-41
13	87	細川 慎弥 佐藤 公哉 元嶋 祐弥	0	8	0	0	0	13	0	0	21	-31
14	7	Jorg Muller 荒 聖治	0	4	8	0	5	0	1	0	18	-34
15	31	嵯峨 宏紀 久保 凜太郎	1	0	0	5	11	0	0	0	17	-35
16	3	星野 一樹 高星 明誠	4	5	2	3	0	0	2	1	17	-35
17	50	都筑 晶裕 新田 守男	0	-	0	15	0	0	0	0	15	-37
18	10	富田 竜一郎 吉田 広樹	5	0	0	0	0	8	0	0	13	-39
19	18	中山 友貴 川端 伸太郎	0	2	0	0	0	0	4	0	6	-46
20	21	Richard Lyons 柳田 真孝	0	0	0	0	1	0	1	3	5	-60
21	33	Andre Couto	—	—	4	—	—	—	—	-	4	-61
22	5	坂口 夏月 藤波 清斗	0	0	3	0	0	0	—	0	3	-62
23	25	近藤 翼	—	—	—	—	—	1	—	-	1	-64
決勝順位			1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
ポイント			20	15	11	8	6	5	4	3	2	1

※予選ポールポジション: 1pt

※レース距離が700km以上の場合のポイント

1位:25pt、2位:18pt、3位:13pt、4位:10pt、5位:8pt、6位:6pt、7位:5pt、8位:4pt、9位:3pt、10位:2pt

TANIX

triple a

WORK

DUNLOP

WAKOS

LIGHT AUTO 1

TONE

KTI

DRUG STORE Live

GRAN VALLEY

PENALTY.

Firelex

monocolle

PIAA

ODYSSEY

WPC

ÖHLINS

Kinetik

Laser Beam
Printer
Free Print

G.Mike

TAKATA

R35 CLUB
for NISSAN GT-R(R35) Owners

GT-R Magazine

Team Ranking GT300

Po	No	Team	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	
1	4	GOODSMILE RACING & TeamUKYO	23	3	9	11	18	1	18	14	97	-	
2	65	K2 R&D LEON RACING	18	9	4	7	3	28	3	23	95	-2	
3	51	LM corsa	6	23	8	3	5	9	23	8	85	-12	
4	55	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	9	1	14	0	23	0	11	18	76	-21	
5	11	GAINER	3	18	1	23	1	6	6	7	65	-32	
6	25	VivaC team TSUCHIYA	11	3	23	14	1	1	3	9	65	-32	
7	33	D'station Racing	5	14	7	3	6	5	14	5	59	-38	
8	9	PACIFIC with GULF RACING	14	4	1	4	9	7	3	11	53	-44	
9	61	R&D SPORT	0	3	18	5	11	8	0	0	45	-52	
10	88	JLOC	3	1	3	0	7	21	9	0	44	-53	
11	60	LM corsa	1	6	3	9	1	13	8	3	44	-53	
12	87	JLOC	3	11	1	1	3	16	3	3	41	-56	
13	7	BMW Team Studie	3	7	11	1	8	3	4	3	40	-57	
14	3	NDDP RACING	7	8	5	6	0	1	5	4	36	-61	
15	31	apr	4	3	0	8	14	0	3	3	35	-62	
16	50	INGING&Arnage Racing	0	—	1	18	3	1	3	3	29	-68	
17	10	GAINER	8	1	3	1	1	11	1	3	29	-68	
18	18	TEAM UPGARAGE with BANDO	3	5	0	1	3	1	7	3	23	-74	
19	21	Audi Team Hitotsuyama	3	3	3	1	4	0	1	6	21	-76	
20	5	TEAM MACH	3	1	6	3	1	1	-	3	18	-79	
21	52	埼玉トヨタGreen Brave	0	1	1	3	1	3	1	3	13	-84	
22	360	TOMEI SPORTS	3	0	3	3	1	1	-	3	14	-83	
23	111	Rn-sports	3	1	1	0	3	1	-	3	12	-85	
24	26	Team TAISAN SARD	1	1	3	1	1	0	1	3	11	-86	
25	30	apr	0	1	1	1	1	1	3	0	8	-89	
26	117	EIcars BENTLEY TTO	3	1	1	—	1	0	-	3	9	-88	
27	22	R'Qs MOTOR SPORTS	1	1	1	—	1	1	-	3	8	-89	
28	35	PANTHER TEAM THAILAND	1	0	0	0	1	1	1	3	7	-90	
29	48	DIJON Racing	1	1	1	1	1	0	-	1	6	-91	
30	2	Cars Tokai Dream28	1	1	1	0	1	1	1	0	6	-91	
決勝順位			1位	2位	3位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
ポイント			20	15	11	11	8	6	5	4	3	2	1
トップと同一周回			1周遅れ				2周遅れ以上で完走						
3			3				1						

※レース距離が700km以上の場合のポイント

1位:25pt、2位:18pt、3位:13pt、4位:10pt、5位:8pt、6位:6pt、7位:5pt、8位:4pt、9位:3pt、10位:2pt

TANIX



WORK



LIGHT AUTO 1



DRUG STORE **Live**

GRAN VALLEY

PENALTY.

Firelex

monocolle

PIAA

ODYSSEY

METAL SURFACE TREATMENT

WPC



TAKATA

R35 GT CLUB
for NISSAN GT-R(R35) Owners

GT-R Magazine